

石油、ゴム、錫の寶庫

スマトラ紀行(二)

吉

示

裸一貫邦人突撃の百八十年

追ふ邦人の店

華僑を

路傍にみる土人の顔が日本人と似てゐた。付近の住民はスラム族といつて特殊な風習とてないが、家にはかならずトバクと呼ぶ槍を持ち數年で市場にくるに至る。その割に温良な性質である。ジャバ人のやうな沈痛なカガがなく、ふと日本のだれかを思ひ浮ばせる印象である。

猛虎の生け捕り話

記者はスマトラ第一夜をホテルの主、近次郎氏と語り明かす。まづ引糸太郎氏が十九歳の年にこの地へ渡り六年後に近次郎氏がきた。兄共弟同で主人を使役して伐木を營み孫太郎なる者がはじめて南洋の基礎を築いたといふ。當時戸数一百、錦蛇ぬましたよ。」十歳も若く見える近次郎氏は深更まですむのである。虎は象、虎、錦蛇がウンザリするほど住んでいたといふ。

記者はスマトラ第一夜をホーラン・ヤバ

檻に入れ、虎を待ち伏せて「日本人が？」と聲を

まんまと生け捕りにしまして、かけてきた老人があつた。

トル近くありました。いま

は山を開墾されて象や虎も

はほどすくなくなりました

が、それでもちよい／＼見かけますよ」

先馳に

白いお祭帽子はハチアゲである。

どうもマレー人とは異なる

記者とてアラビアのメ

ツカ語りをさせた回々教徒の生涯の念願であり誇りである。

日本は日本人が大好きだ。君

が日本は何處からきたのか

日本は日本人が大好きだ。君

が日本は日本人が大好きだ。君

